



学校便り  
**だしる**  
自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和8年3月11日発行

合い言葉 **やればできる**

## 未来に向かって大きく羽ばたけ

校長 土岐 邦寿

3月に入り、別れのシーズンがやってきました。卒業式に合わせ、今回の学校便りは卒業生と過ごした思い出も含めた、特別号にしたいと思います。

3年生の皆さん、卒業おめでとう。みなさんとは修学旅行に行ったり、TJKで一緒に行動したりと楽しい思い出がいっぱい詰まったものになりました。新聞にも数多く取り上げられました。修学旅行先で取材された長崎新聞、TJKや体育大会、EXPOスクールキャラバンの特別講座など南日本新聞で紹介されました。KYTのローカルニュースでも取り上げられました。生徒、保護者の活躍が話題となり、反響も大きかったです。また、生徒会は学校を盛り上げようと工夫を凝らしている姿が印象的でした。体育大会や文化祭においても、新しいチャレンジをする君たちには感動と感謝の気持ちでいっぱいです。田代中学校を大いに盛り上げてくれてありがとう。

卒業する3年生に贈る言葉として、鹿児島県出身でノーベル物理学賞を受賞された赤崎勇さんのエピソードを紹介したいと思います。赤崎さんは、天野浩さん、中村修二さんと共に青色LEDを発明しました。当時の技術で青色の光を作り出すことは非常に難しく、専門家の間では「20世紀中の実現は不可能」とまで言われていました。多くの研究者が断念する中でも、赤崎さんは「実用化の見通しが全くない青色LEDこそ自分のやるべき仕事だ」と信じ、決して研究をやめようとはしませんでした。「あきらめずに続ければ、最後にはきっと道が開ける」という、逆境にも負けない不屈の精神があったからこそ成し遂げられた偉業なのです。宝山ホール前には赤崎さんの石碑が建立されていますが、そこには「本当にやりたい事を、やりとげるあきらめない心を」という文字が刻まれています。

皆さんは、これからの人生の中で、多くの困難に直面することでしょう。その時には、赤崎さんが不屈の精神で取り組んだことを思い出し、目標を見失うことなく前に進んでいく強い意志をもってください。そして、赤崎さんをはじめ多くの偉人を育んだ郷土鹿児島に誇りをもち、これまで皆さんを支えてくださった多くの方々への感謝の心を忘れることなく、新たな人生を切り拓いて行ってほしいと思います。

さて、これから田代中学校を飛び出し、新しい道へと一歩進めることとなります。保育園、小学校、中学校と一緒に過ごしていたメンバーがバラバラになるのは寂しいかと思いますが、新しい出会いに向かって大きく羽ばたいてほしいと思います。田代中学校で活躍できた皆さんなら大丈夫です。本校の「やればできる」の精神で、輝かしい未来を勝ち取ってください。ずっと応援しています。



野口新太さんが校章を作ってくれました

